

かがはし

じょうえつ市議会だより



Topic_01

市民×議員
意見交換会を開催
…2ページ

Topic_02

補正予算等を審議
6月定例会
…4ページ

Topic_03

いざという時に備えて
避難訓練を実施
…18ページ



上越市議会
ホームページ



「市民」と「行政」をつなぐ
「かけはし」として

と気軽にトーク ～ Opinion Exchange Meeting ～

皆様からいただいたご意見は
議会活動、議員活動につなげていきます



山本広報広聴委員

《意見の取扱い》

STEP
01

意見の整理

広報広聴委員会で、いただいたご意見を整理します。

STEP
02

対応方針の決定

正副議長、全委員長で構成する課題調整会議で、議会としての対応方針を決定します。

対応方針は3パターンに分類されます

- ・委員会に伝えて、委員会として協議するなど必要な対応をとる
- ・全議員に伝えて、それぞれが議員活動等で対応する
- ・行政に伝える

皆さんからの声

5月8日・9日に「ご意見を聴く会（頸城区・清里区）」を、5月10日に「議員と気軽にトーク@直江津学びの交流館」を開催しました。皆さんからいただいた声を、一部ご紹介します。いただいたご意見と、それぞれの対応方針は、市議会ホームページで公開しています。



子どもを安心して産めるような支援をしてほしい！



中山間地域では少子高齢化が進んでいるので、中山間地域の支援にもっと力を入れてほしい！



移住定住について、もっと全国に情報発信してはどうか？



議員定数は人口に対する比率で考えるべき！



山田委員長

議会では令和6年6月に議会改革推進特別委員会を設置し、議会機能の強化を中心とした議会改革を進めています。ご意見を聴く会では、山田委員長が議会改革の取組を報告しました。



ご意見を聴く会・議員

Point1

通年会期制度

通年会期制度を導入し、災害や物価高騰など、迅速に対応しなければならない事態に主体的かつ機動的に議会活動を行えるようにします。

Point2

オンライン委員会

災害時等にも、活動を止めることなく必要な意思決定が行えるよう、委員会をオンラインで開催することを検討しています。

Point3

議会基本条例の検証

議会の諸原則を定めた議会基本条例に基づき、議会活動の検証を行い、ブラッシュアップを図っていきます。

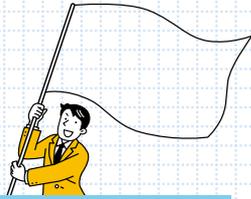
Point4

ハラスメント対策

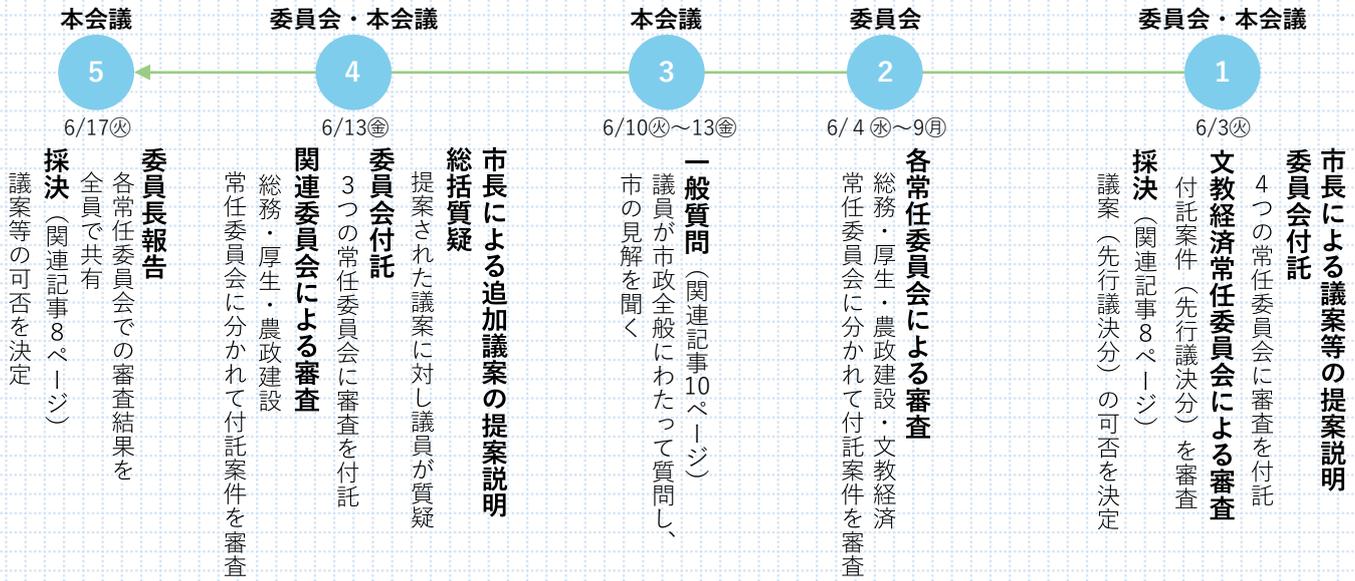
全国の自治体で課題となっているハラスメントを調査研究し、忌憚のない議論ができる環境を目指していきます。

6月定例会

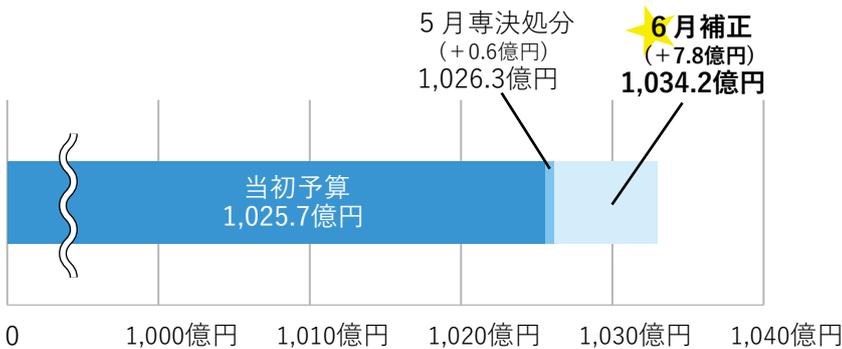
3・6・9・12月に開催される定例会のうち、6月定例会の内容をお届けします。6月定例会は、主に補正予算を審議しました。



6月定例会の流れ



令和7年度予算の推移



令和7年度補正予算等



補正予算など

26 議案等について審議

「専決処分」って何？

本来は議会が議決しなければならないことを、時間的に議会の招集を待てない緊急の場合などに、行政運営の遅れを防ぐため、例外的に市長が議会に代わって意思決定をすることです。



専決処分を行った場合は「議会への報告」と「議会の承認」が必要になるよ！
 専決処分に関連した委員会質疑を見よう！（関連記事5ページ）

02【融雪に伴う災害復旧に係る専決処分】

積雪量が多かった山間部を中心に、農地や市道等で融雪による土砂崩れなどが多数発生しており、耕作や日常生活に支障が生じないよう、迅速に復旧対応を行うため、市長が専決処分を行った旨の報告がありました。

●補正額：6,350万円

■ 議員のQ&市のA ■

Q 復旧工事は現在も継続しているのか。また、米の作付けに影響はなかったのか。

A 5月末時点で75件が完了している。残りの11件は継続中だが、耕作等に支障は生じていない。



法面崩落・水路閉塞（板倉区上久々野地内）

01【子育て世帯等の住宅リフォーム】

住宅リフォーム促進事業において、子育て世帯と若者夫婦世帯に更なる支援を行うための予算案が提案されました。

- 補正額：1,000万円
- 対象：子育て及び家事負担軽減の工事
- 補助率：対象工事費の50%
- 補助限度額：40万円

■ 議員のQ&市のA ■

Q 当初予算分の受付終了により申請ができなかった人が、すでに着工している場合も補助対象になるのか。

A 写真や書類等で工事内容が確認できれば、できる限り対象となるような制度設計を考えている。



03【クリーンセンターの変圧器故障】

クリーンセンターにおいて送電及び受電を行う変圧器が落雷の影響により故障したことから、復旧に向けた補正予算が提案されました。

●補正額：1億615万円

■ 議員のQ&市のA ■

Q 仮復旧で設置する代替変圧器や故障した変圧器の復旧は保険適用となるのか。

A 代替変圧器の設置は保険適用外だが、故障した変圧器の復旧は保険適用となる。復旧完了を見込んでいる令和8年度内の共済金収入の確保に向けて準備を進める。



故障した変圧器



厚生常任委員会による現場視察の様子

04 【旧上越市三和西部スポーツハウス】

旧上越市三和西部スポーツハウスの有効活用を図る事業者を募集した結果、株式会社フォト・オフィスオーツァーが選定されました。

- 貸付期間：3年
- 事業内容：ドローン活用拠点として、体育館・テニスコート跡地を利用

■ 議員のQ&市のA ■

- Q** 今後の維持管理についてどのように考えているか。
- A** 将来的に取り壊す施設であるため、過度に修繕を行う予定はない。
- Q** 貸付期間終了後の進め方は。
- A** 3年間で土地の権利関係の整理を行い、改めて利活用事業者の募集を行う。

将来的に施設を取り壊し、三和西部工業団地の拡張用地等として跡地の有効活用を図る予定でしたが、土地の権利関係の整理に時間を要することが判明したため、一定の期間、企業活動として有効活用を図る事業者を募集しました。



旧上越市三和西部スポーツセンター



体育館（スポーツセンター内）

■ 上越市の財政調整基金について ■



財政調整基金
3月定例会後どうなった？

・能登半島地震や物価高騰への対応などで財政調整基金の取り崩しを行い、令和7年3月定例会の時点では、令和7年度当初予算編成時の残高を約28億円と見込んでいました。その後、昨冬の大雪に伴い市道除排雪経費が増加したことに對し、国から財政的支援があったことなどから、令和7年6月時点での基金残高は約54億円となっています。



05 【文化会館の照明LED化】

上越文化会館大ホール内の舞台と客席照明のLED化等を行うため、工事請負契約の締結が提案されました。

- 契約額：3億5,750万円
- 工期：令和8年3月23日まで

■ 議員のQ&市のA ■

- Q** 工事は今年度計画されているイベントに支障がないように行われるのか。
- A** いくつかの短い単位での工事を考えており、イベントに支障がないように調整する。



大ホール内の舞台

07 【子育て世帯への生活支援給付金】

エネルギーや食料品などの価格高騰の影響により、特に家計への影響が大きい児童扶養手当受給世帯及び所得の少ない子育て世帯に対し、生活支援給付金を支給するための予算案が提案されました。

- 支給対象：児童扶養手当受給世帯
住民税非課税・均等割のみ課税世帯
- 支給額：児童1人につき25,000円
- 申請期限：令和8年3月31日



■ 議員のQ&市のA ■

Q 物価高の影響は全世帯に及んでいる中、子育て世帯に限った支援とした理由は何か。

A 物価高騰の中でも、子育て世帯の生活や子どもの成長を支えていくことが重要と考えたためである。

Q 外国人世帯などの支援が届きにくい層への配慮は。

A 広報紙やホームページへの掲載のほか、分かりやすい日本語での通知を行うなど、漏れなく支給できるよう進める。

06 【ふれあいグラウンドの人工芝張替え】

ユートピアくびき ふれあいグラウンドにおける人工芝の張替え等を行うため、工事請負契約の締結が提案されました。

- 契約額：2億3,650万円
- 工期：令和7年12月31日まで



■ 議員のQ&市のA ■

Q 財源として活用するスポーツ振興くじ助成金は、すでに交付が決定しているのか。

A 2,400万円の交付の内示を受けている。

Q 人工芝の敷設のほか、表示看板の設置なども助成対象になるのか。

A 助成対象となる。



ふれあいグラウンド

■ 県営高田発電所水圧管路破断事故に伴う対応状況について、ガス水道局から報告を受けました ■

・城山浄水場への通水再開に時間を要する見込みであることから、緊急取水先として近接する一級河川関川水系沢山川を選定。

・城山浄水場の運転停止直後から、正善寺浄水場の配水量を増加し、合わせて地下水浄水場（和田浄水場及び深谷浄水場）の運転準備を開始。

・6月6日に試験運転や水質検査などが完了したことから、城山浄水場による市内への配水を再開。

・4月9日に地下水浄水場の運転を開始し、当面の給水体制を確保。

・4月5日、県営高田発電所において、水圧管路が破断する事故が発生。原水の流入がなくなった城山浄水場の運転を停止。



運転を停止していた城山浄水場

城山浄水場では、高速凝集沈殿池と急速ろ過池を用いて浄水し、安全でおいしい水道水をつくっており、合併前上越市の約58%をまかっています。

審

議

結

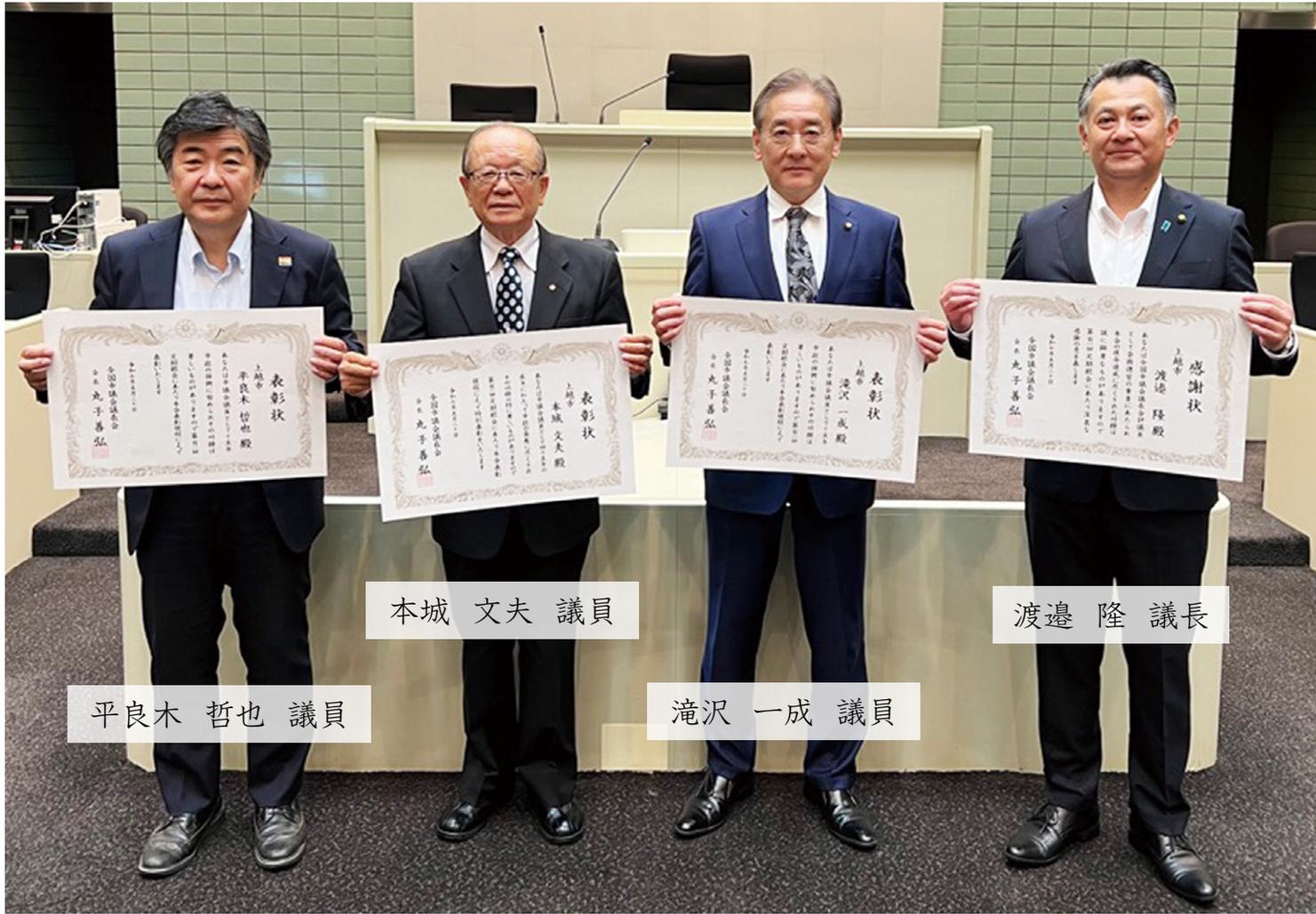
果

6月定例会

◎：全員賛成で可決

件 名		議決 結果
議案第72号	令和7年度上越市一般会計補正予算（第1号）	◎
議案第73号	上越市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	◎
議案第74号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	◎
議案第75号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	◎
議案第76号	上越市市税条例の一部改正について	◎
議案第77号	工事請負契約の締結について（ふれあいグラウンド人工芝張替え 工事）	◎
議案第78号	工事請負契約の締結について（上越文化会館大ホール照明設備LED化及び調光卓更新 工事）	◎
議案第79号	工事請負契約の締結について（春日小学校放課後児童クラブ建設 工事）	◎
議案第80号	公有財産の減額貸付けについて	◎
議案第81号	損害賠償の額の決定及び和解について	◎
議案第82号	令和7年度上越市一般会計補正予算（第2号）	◎
報告第5号	専決処分した事件の承認について（令和6年度上越市一般会計補正予算（専第7号））	◎
報告第6号	専決処分した事件の承認について（上越市市税条例及び上越市都市計画税条例の一部改正について）	◎
報告第7号	専決処分した事件の承認について（上越市国民健康保険税条例の一部改正について）	◎
報告第8号	専決処分した事件の承認について（令和7年度上越市一般会計補正予算（専第1号））	◎
同意案第1号	上越市教育委員会委員の任命について	◎
同意案第2号	上越市公平委員会委員の選任について	◎
同意案第3号	上越市固定資産評価員の選任について	◎
同意案第4号	上越市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
諮問第1～7号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎

議員表彰



平良木 哲也 議員

本城 文夫 議員

滝沢 一成 議員

渡邊 隆 議長

全国市議会議長会と北信越市議会議長会から、永年在職議員の功績をたたえ、本城文夫議員（在職45年以上）、滝沢一成議員及び平良木哲也議員（在職15年以上）に表彰状が贈られました。

また、全国市議会議長会から、議長会評議員としての功績に対し、渡邊隆議長に感謝状が贈られました。

人事案件に同意しました

■教育委員会委員の任命

小林 晃彦氏（再任）

■公平委員会委員の選任

森 直樹氏（再任）

■固定資産評価員の選任

瀧本 幸次氏（新任）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

石田 昇氏（再任）

■人権擁護委員候補者の推薦

保坂 和彦氏（再任）

石田 文秀氏（再任）

北峰 恵祐氏（再任）

片桐 恒雄氏（再任）

笠原 正氏（再任）

井澤 ますみ氏（再任）

松井 和代氏（再任）

20人の視点

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、20人が登壇し、論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？



- **高橋浩輔** 地域医療構想 / 義の心の周知、継承
- **本城文夫** 市長の政治姿勢等 / 地域医療の強化
- **こんどう彰治** 上越妙高駅周辺の開発 / 市章入りユニホームで市のアピール
- **平原留美** 上越妙高駅前の国指定史跡 / 釜蓋遺跡ガイダンス駐車場の利活用
- **橋本洋一** 続発する不適切事案の対応と再発防止
- **上野公悦** 原発再稼働の是非 / 学校での誤食事故
- **丸山章** 地域協議会等の抜本的改革
- **山田忠晴** 選挙投票率の向上 / 部活動の地域展開
- **西沢智子** 単身高齢者の終活支援 / 搾乳室表記の推進
- **山本佳洋** 原発再稼働の県民投票条例否決 / 中高生の居場所づくり
- **櫻庭節子** 外国人による土地取得問題 / 学校給食
- **滝沢一成** 中小企業事業者支援
- **伊崎博幸** 統合医療に基づく生活習慣病予防
- **降旗太地** 市職員の働く環境改善 / 部活動の地域展開
- **小林和孝** 春日山城跡の整備
- **高山ゆう子** スクールバスの有効活用 / 住民組織の強化
- **安田佳世** 小木直江津航路の利用促進 / 学校給食
- **平良木哲也** 带状疱疹ワクチン接種 / 原発再稼働 / ケアマネとヘルパー
- **橋爪法一** 農業の担い手不足
- **宮越馨** 市長の政治姿勢 / 上越地域医療センター病院・新潟労災病院

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



地域医療構想全体の理解を進める取組を

高橋 浩輔(みらい)



Q 地域医療構想を進めていくためには、市民の理解や納得が不可欠である。地域医療構想の全体像を市民に理解してもらうための取組がもっと必要ではないか。

A これまで労災病院の閉院後のことやセンター病院改築について、市民に説明する機会があった。地域医療構想についても、説明の場を県とともに持ちたいと考えており、その中に、センター病院の経営改善・改築や労災病院の跡地のことも含まれてくる。市民が少しでも安心できる地域医療体制の構築に向け、取組を進めていきたい。

「義の心」の周知・普及と継承の取組を

Q 謙信公生誕500年に向け、「義の心」の周知・普及と次世代への継承について検討委員会を立ち上げ、議論の俎上に載せるべきでは。

A 春日地域の学校は、教育の一環として謙信公や春日山における様々な活動に取り組んでいるが、米沢市などの事例も参考にすると、もう一歩進めたほうが良いと考えている。「義の心」の精神を後世に継いでいくための検討委員会は重要な役割を果たすと考えており、こういった取組を進めていきたい。



市長の政治姿勢と市長選出馬の考えは

本城 文夫(市民クラブ)



Q 10月19日告示の市長選挙への出馬の考えを聞きたい。本気度が問われているがどうか。

A 関係者と話し合い、考えを整理している。

Q 公約の自己採点を聞きたい。

A 着手できるものから適宜実行に移している。最終的な評価を行うのは市民の皆さんである。

Q 不適切発言で辞職勧告を受けたが、信頼関係の回復に向けた市長の責務をどう考えるか。

A 議員とは互いを尊重し合える関係を築くことができるよう、誠心誠意努める。

地域医療の強化を！

Q 地域医療センター病院は、応急的な整備だけで職員、患者の不安解消となるのか。

A 早急に修繕が必要な箇所を洗い出し、予算を確保した。改築完了まで良好な治療、療養環境を提供し、職場環境の保全を図っていく。

Q 上越地域医療構想調整会議で医療体制の中期再編案をまとめる方針が示されたが、センター病院改築に遅れは出ないか。また、合併特例債の期限である令和11年度中の開院見通しは。

A センター病院の運営を続ける方針が調整会議の共通認識として浸透しており、この方針は変わらないと考えている。発注方式の工夫により整備期間の短縮を図るなど、令和11年度末までの完了の可能性を排除せず、検討を続ける。



上越妙高駅周辺の開発の考えは

こんどう 彰治(市民クラブ)



Q 上越妙高駅東口にある民間所有の未開発の土地を、官民一体で開発する考えはないか。

A 市では施設整備などに取り組む考えはない。

Q 北信越のど真ん中で交通アクセスも良い。当市の南の玄関口、ゲートウェイとして核となる施設が必要ではないか。

A 大規模商業施設は考えていない。

Q 釜蓋遺跡発掘の進捗と、市内外における遺跡の存在を知らない人への周知方法はどうか。

A 遺跡の範囲を確認する調査を継続し、遺跡の範囲など全体像を明らかにする。また、上越妙高駅観光案内所でのパンフレット配布や、ホームページでの情報発信などに努める。

当市のロゴマーク入りユニホームの考えは

Q 妙高市では、箱根駅伝で活躍している青山学院大学のユニホームに市のロゴマークを入れて名前を発信している。市のアピールのため、当市でも取り組む考えはないか。

A 手法を参考としながら、シティプロモーションの取組を強化する。

Q 当市にもホームグラウンドを擁する女子ソフトボールの太陽誘電や、アジア大会のBMX金メダリスト中井飛馬氏が存在する。ロゴマークを入れる取組を進められないか。

A ご意見は参考にしていきたい。



上越妙高駅前
の国指定
史跡を観光に
活かそう

平原 留美 (つなぐ)



Q 「弥生のムラ」コミュニティパーク事業の観光の取組の一つとして、ハイキングコースの設定やPRは行われているのか。

A 釜蓋遺跡ガイダンスを起点とし、吹上遺跡や斐太遺跡を巡る周遊マップを作成し、ガイダンスに設置するなど、遺跡群の周知と誘客促進を図ってきた。より多くの来訪者への周知を図るため、周遊マップを駅周辺の店舗などにも配置することでPRに努める。

釜蓋遺跡ガイダンス駐車場の活用は？

Q 釜蓋遺跡ガイダンス駐車場における歳入確保のために取組は何か。

A 令和元年9月から、駐車場の一部について周辺の飲食店利用者への駐車スペースとして貸付けを開始し、その後も、上越妙高駅及び駅周辺の施設等を利用する大型バスの中の一待機場場及び、駐車スペースとして貸付けを行うなど、有効利用を図ってきた。引き続き、駅周辺の駐車場の状況を踏まえ、適切に対応していく。

吹上・釜蓋遺跡応援団の盛り上げを！

Q 吹上・釜蓋遺跡応援団の活動をどのように支援していくのか。

A 応援団の主体性を尊重しつつ、応援団の活動がより活性化するように下支えしたい。



続発する不適切
事案の
初動対応と再発
防止は

橋本 洋一 (久比岐野)



Q 工事入札における落札業者の誤り、消防団員報酬の源泉徴収票への課税対象額の誤記載、議会資料の訂正、学校給食への蛍光管の破片混入、児童への漂白剤混入水の提供など、緊張感の欠如と思われる不適切事案が続発しているが、初動対応、再発防止策及び職員の意識改革はどうか。

A 初動対応については、事務の誤りや事故が発生した場合には、事態の収束及び関係者への対応を行うとともに、所属長等を通じて速やかに市長まで報告することとしている。また、事実の確認等に時間がかかる場合であっても、その時点で把握できた状況を第1報として報告することを原則としており、今回の事案についてもこの方針に沿って対応している。再発防止策や職員の意識改革については、根拠となる法令等の確認はもとより、担当者に任せきりにすることなく、組織として対応するという原点に立ち返って適正な事務執行を徹底していく。なお、児童に対する重大な健康被害が疑われる事故については、全ての教職員が自分事として受け止め、事故の原因や問題点、その対策を改めて検討し、1人ひとりが危機管理意識を高めるとともに、再発防止に向けた組織風土を構築するための取組を進めていく。



原発再稼働の是非は
市民の声に傾聴を

上野 公悦 (日本共産党議員団)



Q 柏崎刈羽原発の再稼働の是非を問う県民投票条例案が県議会で否決され、結果として県民が再稼働の是非について意思を示す機会が失われたが、これについて市長はどう考えるか。

A 開かれた県議会における慎重な審議の結果であり、私から申し上げることはない。

Q 柏崎市を皮切りに、県内5か所で公聴会が開かれる。市長の再稼働に対する考えも問われるが、市民の声をどのように聞くか。また、時期はいつ頃になるか。

A 何らかの形で市民の考えを把握する必要があるが、手法や内容、時期も検討中はまだ示せない。手順を踏んで整理する。

学校で連続する誤食等の事故への対応は

Q 文教経済常任委員会に16年以上所属しているが、これほど短い期間で子どもたちの安全、もしかしたら命にもかかわるあつてはならない事案が連続的に発生したことはない。単なるマニュアルだけの問題にとどまらない。安全に対する意識の醸成や、徹底した指導を求めるがどうか。

A すべての子どもたちにとって、学校は安心安全な場所であればならない。このような事故を二度と繰り返すことがないように、全ての教職員で再発防止に取り組み、児童や保護者、市民の皆様の信頼回復に努める。



提言「地域協議会」等の抜本的改革！

丸山 章（無所属）



Q 新上越市が誕生し20年が過ぎ、地域協議会の課題が顕在化している。令和6年4月の選挙で全区で選任投票が行われず、追加選任を行い充足させた。自主的審議では、地域の課題等を把握し、改善の意見書を提出するも市の施策にほとんど反映されず、地域の課題解決は形骸化している。将来に向けて最善の体制を整えることが重要であり、地域協議会を発展的に解消し、課題等を改善へと導く「未来創生政策委員会」の設置を提言する。①「未来創生政策委員会」とは、地域協議会等で把握された課題等を踏みに、未来のまちづくりに向けた具体的な政策を企画立案、②13区は、令和6年に提言した「未来創生スペシャルセンター」に業務委任、③15区は歴史的経緯から、地域自治区制度を発展的に解消し一体的なまちづくりを行う、④委員数は、13区は各6名程度、15区は30名程度（部会設置、15地区に小委員会設置）、⑤委員は、まちづくりに意欲のある方、各種団体（町内会・NPO等）、有識者から選出、⑥市に政策を提言し市は実行する、⑦委員報酬は1回5千円程度。

A 地域協議会は、地域の特性をいかした活動や課題解決に向けた取組等、住民の意思を市政に届ける上で重要な機関である。現行の地域協議会を維持しつつ委員の選定手法などの見直しに取り組みが、議員の提案は参考にしたい。



選挙投票率の向上に向けた取組は

山田 忠晴（公明党）



Q 他の自治体では、移動式の期日前投票所が町内や学校近くを巡回し、選挙投票率の向上を図っているが、当市も導入する考えはないか。

A 当市では日時を限定したものを含めると、期日前投票所を26か所開設し、有権者の投票機会と利便性の確保・拡充を図っている。また、児童・生徒を対象とした啓発活動にも取り組んでおり、現段階では移動式の投票所を導入する考えはない。



中学校の部活動地域展開の現状と課題は

Q 部活動の地域展開に伴い、顧問を務める教員の負担軽減は進んでいるか。

A 休日の部活動を令和7年度は10日、令和8年度は行わないこととする取組を進めており、教員の時間外勤務は減少している。

Q 入学予定の中学校区の中学校に希望する部活動がない場合、希望する部活動がある中学校に入学できるように、規制を緩和する考えはないか。

A 当該規制は令和5年4月に上越市部活動指導ガイドラインを改訂して設けたもので、現在その方針を変更することは考えていないが、学校や教育委員会に相談があれば、丁寧に説明していく。



高齢者の「もしも」に備える終活支援

西沢 智子（公明党）



Q 超高齢社会が続いている中、身寄りのない単身高齢者が増加しているが、「もしも」の時に自分の意思が尊重され、適切な医療、葬儀、遺品整理などが行われるためには、意思や情報を「見える化」しておく仕組みが必要である。本人にとっても周囲にとっても大きな安心に繋がるよう、単身高齢者の終活支援として、これらの事前登録制度の導入を検討できないか。

A 先進自治体の取組内容や制度導入の効果、課題などについて調査・研究を行っていく。

搾乳室表記の推進を

Q 産後の母親の中には、様々な事情により赤ちゃんと一緒にいない時に外出先で搾乳が必要となる人がいる。その場合、公共施設などの「授乳室」を利用しようとしても、周囲から不審がられる場合もあることから、まずは公共施設の「授乳室」に「搾乳室」の表示を併記する施策を推進してはどうか。

A 「授乳室」などの専用スペースについて、改めて搾乳ができる旨の掲示を行うこととし、まずは、市役所第一庁舎において掲示を実施した。今後、市が子育てバリアフリー認定を行っている民間施設に対しても、掲示の協力を呼びかけるなど、搾乳に対する理解を広めていきたい。



原発再稼働の県民投票
条例案否決への見解は
山本 佳洋 (市民クラブ)



Q 県議会が柏崎刈羽原発の再稼働の県民投票条例案を否決したことをどう受け止めているか。
A 県議会での慎重な審議の結果であり、市長として見解を示すものではない。

Q 知事に意見を伝える前に、市民の考えを把握する機会とその方法について聞きたい。
A 具体的な方法は検討中である。

Q 「県民に信を問う」方法を早急に示すよう、知事に要請してはどうか。
A 方法や時期は、知事自身が判断して示すものであり、市から要請することはない。

中高生の居場所・サードプレイスづくり

Q 特に高校が集中する高田地区における今後の居場所づくりのビジョンや将来像を聞きたい。
A 関根学園高校の生徒の取組を契機に、地域全体で高校生の居場所づくりの機運が盛り上がっていると認識している。令和7年度も支援を継続し、他校の生徒や商店街などの意見も聞きながら、学生が地域の魅力を知り、愛着を高めるきっかけとなる場のあり方を検討する。

Q 南高田駅周辺も多くの生徒が利用しているが、この地区の将来像はどう考えているか。
A まずは高田駅からのスタートと考えているが、南高田駅のことも見据えながら計画を立てていく。



外国人による土地取得
問題への対応は
櫻庭 節子 (みらい)



Q 令和6年末、国民民主党と維新の会から「外国人土地取得規制法案」が衆議院に再提出された。北海道などの他自治体では、外国人による土地の購入が問題視されているが、上越市での実態は調査しているか。
A 当市では、外国人による土地購入に関する独自の調査や市民に向けた啓発等の対応は行っていないが、今後も国の動向を注視していく。

Q 柿崎区で外国人により取得され、事業展開している土地が、フェンスで囲まれて中が見えない状態にある。近隣住民から不安の声があがっているが、市はどう対応するのか。
A 事業者から近隣住民へ、実際に行っていること等を説明してもらおうよう、県と協力して粘り強く交渉していく。

学校給食を全て米飯へ

Q 当市の学校給食を全て米飯に替え、地元産の米を使用する場合、どれくらいの米が追加で必要か。また、それにかかる費用はいくらか。
A 追加で約63t必要となる。費用は雑費を含め6260万円だが、不要になるパンや麺類の調達費を差引けば、126万円の増となる。

Q 今後、完全米飯給食にする考えはないか。
A 子供の嗜好や食育等の関係上、全て米飯にするには慎重な判断を要する。



市内中小企業事業者を
支える取組を
滝沢 一成 (無所属)



Q 令和7年4月の閣議決定「中小企業者に関する国等の契約の基本方針について」に「資材の供給減少、価格高騰が発生した場合、受注者から請負契約の内容の変更について協議の申し出があった際には、予算の不足や過去変更契約実績がないことを理由に協議に応じないことがないように」とあるが、当市においてもこの方針を徹底していくべきではないか。
A 契約時に予見することが困難な状況が生じた場合、その負担を受注者のみに負わせることは適当ではなく、受注者と発注者の双方で負担を分担すべきものであるが、基本的には発注者が負担している。

Q 地域保全型工事発注の基本的な考え方は。
A 地域に貢献する地元企業に工事を発注することで、地元企業が将来にわたって持続され、除雪業務などの地域貢献の取組を一層促すことを目的とする。工事の対象は、予定価格が200万円超2000万円未満の特殊な技術を要しない土木工事のうち、地域の安全・安心確保に深く関わる工事や災害復旧工事などで、安塚区、浦川原区、大島区、牧区で試行している。また、地域の担い手不足の解消を図るには地域維持型契約方式が有効だが、地域保全型工事を試行する中で関係団体の意見を聞きながら、当市の実情に適した制度設計を進める。



統合医療に基づいた
生活習慣病予防を

伊崎 博幸（無所属）



Q がん及びアレルギー疾患について、保健指導の効果が見えにくい。ため目標設定はしないと過去に答弁しているが、現代医学に補完代替療法を組み合わせた統合医療に関しては、臨床データの蓄積も進んでおり、医師も有効性を訴えていることから、当市も中長期的な目標を定めようか。

A 国は統合医療について、科学的知見が十分に得られているとは言えず、患者・国民に提供するとは適当でないとの基本方針を示している。そのため、統合医療に基づく生活習慣病予防や健康づくり活動を始め、がん・アレルギー疾患に係る目標設定を行う考えは持ち合わせていない。

Q 先進国ではがんをはじめとする生活習慣病患者数が減る中、日本は増加傾向にある。厚生労働省の指針がないことを理由に啓発を控えるのではなく、臨床データの蓄積が進む統合医療を、医師監修のもと、市独自で取り組む考えはないか。

A その考えは持ち合わせていない。引き続き、国の情報や動向を注視していく。



市役所職員の
働く環境改善を

降旗 太地（久比岐野）



Q 持続可能な市政運営には、職員のやりがいがないが、やりがいを高めるための取組について聞きたい。

A 令和5年に人事改革の方針を策定し、職員の意欲向上や組織風土の改善に取り組んでいる。**Q** 職員が仕事として現場に行きやすい体制は整備されているか。

A 推奨しているが、多忙で難しい現状があることから、業務効率化で時間の確保を図る。

Q 業務効率化のアイデアを全職員から募り、優れた提案を表彰する制度を導入してはどうか。**A** 業務改善を進める上での表彰制度は1つの方法であることから、前向きに検討したい。

今後の部活動の地域展開は

Q 指導者研修の質が高いため、より多くの指導者が受講できることが望ましい。地域クラブの認定の有無に関わらず、受講できないか。

A 地域クラブ認定制度の中で実施しているが、制度の見直しも視野に入れて検討したい。

Q 今後「部活動」という言葉が消え、「地域クラブ」が定着するビジョンがあるのか聞きたい。

A 部活動は本来、子どもが自発的に行う活動で、地域で多様なニーズに応えられる環境が理想である。安全性を担保し、地域の力で子どもたちを支える仕組みづくりを進めていきたい。



春日山城跡整備基本計画と既存計画の関係は

小林 和孝（市民クラブ）



Q 令和6年度のレガシー形成事業により、今後の春日山城跡の保存・活用についての指針となる国指定史跡春日山城跡整備基本計画（素案）が策定されたが、既存の通年観光計画及び春日山城跡保存管理計画との関係性はどうか。

A 通年観光計画では、教育委員会が策定した春日山城跡保存管理計画と整合を図りながら春日山城跡の各種整備事業を位置づけている。今後、市が史跡指定地内で通年観光計画に記載した事業を行うためには、文化庁の協議はもとより、文化財保護法に基づく手続きとして、整備の基本方針や具体的な整備内容をまとめた「整備基本計画」の策定が必要になると考えている。

一方、レガシー形成事業は、北陸信越運輸局が実施主体となり、春日山城跡の更なる観光活用に向けて、通年観光計画を踏まえる中で、より具体的な春日山城跡の整備内容が検討されたものであり、その成果が「整備基本計画」の素案として整理されたものである。

Q 今後の整備の方向性はどうか。

A 史跡内の大規模な整備に着手する際には、「整備基本計画」の策定も必要となることから、この素案を参考に、教育委員会において計画の策定を検討していきたい。事業の実施については、財源および優先順位を検討し、実施時期を判断していく。



スクールバスの有効活用を！
高山 ゆづ子 (市民クラブ)



Q 遠方から通う子どもたちの送迎用であるスクールバスは、小学校の校外学習での使用に一定のルールがあり、有効活用されていない。13区は総合事務所でバスの管理をしているが、今後は区を跨いだ学校の統合もあるため、教育委員会でバスを一括管理し、運転手の確保を含め、バスの利用回数を増やすなど、臨機応変に対応できないか。



A 校外学習でのバスの使用は、各学年で年1回を目安にしている。バスは合併前上越市に4台、13区にはそれぞれ複数台あり、13区の車両をどこまで活用できるか分からないが、将来的には考えていきたい。当面は合併前上越市の中でバスをやりくりしながら運転手を確保し、校外学習の充実に取り組んでいきたい。

住民組織の強化と地域自治とは

Q 広い地域を住みよいまちにするには行政と住民組織が役割分担しながら地域の困り事を解決することが大切で、それが地域自治だと思ふ。住民組織が地域の要になる強化支援はどうか。

A 地域の実情を踏まえ、経営的視点を持った体制運営の相談や団体間の交流支援、更には資金面での支援も含め、様々な側面から支援策を検討し強化していきたい。



小本直江津航路を使い
世界遺産の佐渡へ！
安田 佳世 (久比岐野)



Q 「佐渡島の金山」世界文化遺産登録を好機とし、小本直江津航路の利用促進により一層取り組むべきと考えるがどうか。

A 世界遺産登録前から、航路を利用する旅行商品の造成や港と駅間のタクシー運行などを支援している。登録後は、航路利用者を対象に宿泊割引や飲食店のクーポン券配布、市民が利用する際の運賃支援に取り組んでおり、令和6年の輸送人員は前年比116%の約8万3千人に増加している。令和7年度は妙高市、糸魚川市と連携した広域的な取組の拡充を図っている。

Q 上越市は航路維持のため、継続して佐渡汽船株式会社に財政支援を行っているが、経営状況をどのように見ているか。航路の維持発展のためにも、上越市として利用促進や活性化により一層取り組むべきと考えるがどうか。

A 佐渡汽船株式会社全体での利用は増えており、改善しているが、小本直江津航路単体では赤字となっている。現在の輸送人員の増加傾向をより増やしていきたい。

学校給食でもっと地元産野菜の使用を！

Q 学校給食における地産地消の状況はどうか。
A 頸城区の若手生産者が給食向けの秋冬野菜の増産に取り組んだこともあり、令和6年度の使用割合は0.5ポイント増の14%になった。



带状疱疹ワクチン接種
費用助成金額の根拠は
平良木 哲也 (日本共産党議員団)



Q 当市の主体的・自主的な助成の必要性の検討はどのように行ったのか。

A 予防接種法に基づいて助成することとした。
Q 私の試算では50歳以上の全員に全額助成しても、医療費はそれ以上に節約できるがどうか。
A 業務の参考とさせてもらう。

原発再稼働への考え方は

Q 過酷事故の可能性をどう考えているか。
A 災害対策では、予測不可能な大災害が起り得るとの認識の下で臨まなければならない。
Q 県がそう考えずに原発再稼働OKと言うようであれば、反対するということか。
A 市としてはそう考えていると伝えたい。

ケアマネとヘルパーの実態と処遇改善は

Q ヘルパー不足でケアマネが無報酬の法定外労働をせざるを得ない状況はないか。
A 職能団体のアンケートでは無報酬労働の負担感を訴える意見が寄せられ、市に対して業務範囲に関する相談が寄せられている。
Q それだけ人手不足である根本原因は処遇であるが、市独自でなんとか改善できないか。
A 喫緊の課題であることは認識しているが、市独自での処遇改善は、財源の確保や他産業の事業者との整合性等もあり、実施は困難である。



橋爪 法一（日本共産党議員団）



Q 農林業センサスによると、20年前の農業経営体数は8211だった。それが5年前には3111と4割弱に激減している。また5年前の調査では後継者がいないという経営体は8割のぼっており、極めて深刻である。どう見ているか聞きたい。

A 消費者の皆さんにも米価について一定の理解を得る一方で、農業経営の効率化とコスト低減を推進し、経営体質の強化・改善などを図りながら、多くの担い手を惹きつける魅力ある産業にしていけることが必要と考えている。

Q 食料安全保障崩壊の危機の中で、国に対して米の増産と所得補償を働きかけるべきではないか。また、市としても思い切った増産目標と計画打ち出す考えはないか。

A 国は令和9年度からの水田政策を根本的に見直すとしている。まずは、国の動きを注視し、懸念がある場合は国への要望活動を行っていく。



宮越 馨（無所属）



Q 記者会見で市長は「市政は混乱していない」と発言したが、上越市発足以来これほど混乱した市政は見たことがない。なぜ嘘の政治をするのか。私との選挙協定である「政策協定」を守らないのはなぜか。私のノウハウを生かす態勢を作らなかつたため市の発展は停滞し、私が誘致した火力発電所からの税収がなかつたら財政は破綻している。住みよき日本一、子育て日本一、雁木通りを世界遺産にするとの公約は嘘だったのか。「市長とは会話ができない」との県幹部の声は致命的である。加えて、加速する人口減少対策や地域医療問題に真剣に取り組まないのはなぜか。中川市政はリセットする必要があるため、政策協定は破棄するが所見を聞きたい。

A 持続可能で将来に引き継げるまちになるよう、継続性をもって市政運営に全力を尽くす。

上越地域の医療体制維持を

Q 老朽化が著しい上越地域医療センター病院は直ちに建て替える必要がある。また、新潟労災病院は形を変え、コワーキング病院として市が責任をもって残すべきである。上越地域の医療体制崩壊の危機であるが、どう考えているか。

A センター病院については、上越地域の医療構想の議論等を見極めながら取り組んでいくが、労災病院のコワーキング化は考えていない。



一般質問についてもっと詳しく教えて！

Q 一般質問の持ち時間は決まっているの？

一般質問における議員1人あたりの持ち時間の制限は各議会によって異なります。上越市では、議員の質問時間に30分の制限を設けています。なお、理事者（市長や教育長など）の答弁は制限時間に含まれません。

Q 6月定例会はどれくらい一般質問を行ったの？

1人あたり平均で約53分（答弁の時間を含む）の論戦を繰り広げました。

委員会中の火災を想定して避難訓練を実施



委員会中に市役所内で火災が発生し、5階（議会フロア）まで煙が立ち込めた状況を想定して、救助袋を使った避難訓練を行いました。市議会では本会議中や委員会中などの災害を想定した避難訓練を実施することにより、議事中断の流れや身の安全確保など、議員の対応能力と防災意識の向上に努めています。

～ 避難訓練の流れ ～





101回目の観桜会に向けて

—子どもたちが議員にプレゼンテーション—

今年で100回目の開催

となった高田城址公園観桜会。今後もより良い観桜会となるよう、春休みスクールで探究学習を行う子どもたちが考えたアイデアをお聞きました！
もっと多くの人に楽しんでもらうには？外国人にも魅力を伝えるには？ポイ捨てや路上喫煙などの困りごとを解決するためには？色々な視点から、たくさんのアイデアが発表されました。

市議会としても、より盛り上がりのある観桜会となるよう、みなさんからいただいた貴重なアイデアを議会活動に活かしていきます。

令和7年度 上越三市議会議員合同研修会 公開講演会

議員の資質の向上と共通する課題の解決、連携の強化等を図るため、糸魚川市・妙高市・上越市の議員が参加する議員合同研修会の「公開講演会」です。お気軽にご参加ください。



講師 **柿崎 明二 氏** / かきざき めいじ 帝京大学 法学部 政治学科 教授

日時 **10月2日(木)** 午後3時から午後5時

場所 **上越文化会館 中ホール**

演題 **いま、地方議会に求められること**

定員 **50人(申込順・参加無料)**
※糸魚川市・妙高市・上越市の議員も聴講します。

申込 右のコードからお申し込みください。
(より詳しい内容も掲載)



電話、メール、FAXでのお申し込みも可能です。
氏名、連絡先をお知らせください。

【申込・問合せ先】電話 025-520-5803
メール gikai@city.joetsu.lg.jp FAX 025-526-7575

日本を代表する総合国際通信社の勤務を経て、内閣総理大臣補佐官を担った経験や、「江戸の選挙」など日本の民主主義の芽生えなどを交えながら、いま、地方議会に期待し、求められていることなどをお話しいたします。

議会を傍聴しませんか

だれでも自由に
見たり、聴いたりできるんです



令和7年9月定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	9/1	2 本会議 (総括質疑)	3 本会議 (総括質疑)	4 文教経済常任委員会	5 文教経済常任委員会	6
7	8 厚生常任委員会	9 厚生常任委員会	10 農政建設常任委員会	11 農政建設常任委員会	12 総務常任委員会	13
14	15 敬老の日	16 総務常任委員会	17	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (一般質問)	20
21	22 本会議 (一般質問)	23 秋分の日	24 本会議 (一般質問)	25	26 本会議 (採決)	27
28	29	30				

議場・委員会室で傍聴する

●本会議の受付

市役所6階傍聴席前で傍聴受付票に記入してから入室してください。

●各委員会の受付

市役所5階委員会室に入室してから傍聴受付票に記入してください。

ライブ配信・録画を見る

●本会議の配信

専用サイトでライブ配信と過去の動画を配信しています。



●各委員会の配信

YouTubeでライブ配信と過去の動画を配信しています。



編集後記

広報広聴委員会では、子どもたちから市政に関する素朴な質問を受けたり、未来の上越市についてのプレゼンを聞く機会に恵まれました。大人と違う視点や子どもたちならではの斬新な発想にあふれており、大きな可能性を感じずにはいられません。この素晴らしいアイデアからいただいた感動を力に変え、議会の情報をより分かりやすく、創意工夫を凝らして伝えてまいります。

山本佳洋

広報広聴委員会
委員長 ストラットン恵美子
副委員長 櫻庭 節子
委員 降旗 太地
西沢 智子
山本 佳洋
関川 信之
小林 和孝
上野 公悦
渡邊 隆